

活動報告

- ヒメボタル観察会
- 水辺で乾杯in猪名川
- エフエムいたみラジオ放送
- みんなのサマーセミナー2024

トピックス

- その生き物、どうやって種類分けしますか？(水谷河川レンジャー)
- 猪名野神社～伊丹緑地(伊丹段丘・東縁)(原口河川レンジャー)

お知らせ

- 猪名川河川レンジャーが参加するイベントのご案内
- 第13弾 猪名川のい～な！作品募集



活動報告

ヒメボタル観察会

5月17日(金) 猪名川河川敷(伊丹市、桑津橋上流右岸)で実施

佐藤河川レンジャーの主催により、猪名川河川敷に生息しているヒメボタルの観察会を開催しました。近隣の小学校等に開催案内を行い、親子連れを中心に130名の参加がありました。来場者にヒメボタルの生態や特徴などを簡単に説明した後に、観察場所をご案内し、多くのヒメボタルが発光する様子を見ていただきました。

参加した皆さんからは、「家の近くでこんなにホタルが見られるなんて知らなかった」「猪名川の自然を大事にしていきたい」などの感想が寄せられました。身近な猪名川の魅力を知っていただく良い機会になりました。



観察会での説明の様子

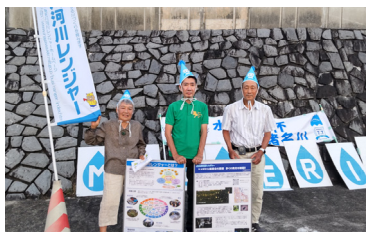


ヒメボタルの発光の様子

水辺で乾杯 in 猪名川

7月5日(金) 猪名川河川敷(池田市、呉服橋上流左岸)で実施

新しい水辺の活用の可能性を切り開く「ミンスベリング」の一環として身近な水辺で乾杯する「水辺で乾杯」が今年も猪名川河川敷で開催されました。猪名川河川事務所の呼びかけにより、地域の活動団体や企業等から65名の方々が集まりました。参加団体のPRタイムでは、志築河川レンジャーと佐藤河川レンジャーが河川レンジャー活動の紹介を行い、参加団体同士の交流を図りました。午後7時7分には参加者全員で乾杯し、猪名川の水辺を楽しみました。



活動紹介を行った河川レンジャー

志築河川レンジャーより一言

美しい景色と心地よい風の中で、猪名川流域で活動している方々や地域の企業の人々と交流し、笑顔と乾杯が溢れるひとときを過ごしました。皆様との絆が深まり、心に吹く風が気持ちよかったです。次回、ぜひご参加ください。



志築河川レンジャー

佐藤河川レンジャーより一言

開催日がヒメボタル発生のタイミングとぴったり合い、ピーク時の発光を見てもらえました。皆さんにヒメボタルを知っていただけて嬉しかったです。



佐藤河川レンジャー

エフエムいたみラジオ放送

7月31日(水)・8月4日(日)放送

佐藤河川レンジャーがハッピーエフエムいたみのインタビューを受け、河川愛護月間に合わせて、ラジオ番組「魅力発見！伊丹の広場」で放送されました。伊丹市やその周辺にお住まいの皆様が猪名川に関心を持っていただくことを目指し、猪名川河川レンジャーの活動や猪名川環境・魅力等について様々な内容をお話しました。



収録の様子

トピックス

その生き物、 どうやって種類分けしますか？

前回のトピックスで取り上げたフナの間は種類分けが非常に難しい魚です。外見上から見分けるには熟練を要し、棲んでいる環境や餌も似ています。確実に判別するには、解剖してとある器官を比較する必要があります。

それではカブトムシのように、オスとメスで体型が異なる場合を考えてみてください。そのカブトムシらしい2匹の昆虫は見た目が違うのに、私たちは「カブトムシ」であることをすでに知っています。この前提知識がなければ、その2匹を自然条件下で孫世代まで繁殖できるかを検証して、やっと同種とみなせません。

その他にも、生活スタイルや棲んでいる場所が異なるなど、生き物を判別しうる条件は数多く存在します。今日では、遺伝子による判別が可能になってきたものの、化石となった古代の生き物には通用しません。このように、様々な特性を持つ生き物を種類分けするには臨機応変な判別手法が求められます。種類分けすることは、実はとても難しいことなのです。



(左)カマツツ (右)ナマツツ、外見上は似るが別種
(ナマツツは胸鰭・腹鰭前縁が赤く、側線鱗数が多い等で見分ける)



水谷河川レンジャー

みんなのサマーセミナー2024

8月3日(土) 園田学園女子大学で開催

尼崎市では、「誰でもセンセイ、誰でもサイト」を合言葉に、子供から大人まで参加できる学びの祭典「みんなのサマーセミナー」を開催しています。今回は原口河川レンジャーがセンセイとして参加し、「猪名川流域で起こり得る水害と情報防災訓練」として授業を行いました。

はじめに河川レンジャーや猪名川について紹介した後、洪水の定義や危険性、避難を検討するときのポイント、注意報や警報の内容、正しい情報の収集方法、ハザードマップの見方等について説明しました。また、災害発生時にいつ、どのような情報を収集するかを各自で考えてもらい、皆さんに防災に関する理解を深めていただきました。



授業での説明の様子

原口河川レンジャーより一言

ハザードマップが雨量等の想定に基づいて作成されていることを説明しました。また、水害は氾濫や堤防決壊などのイメージがあるため「洪水氾濫、堤防決壊」と思っている方が多かったです。過去の洪水の写真や定義図等を用いて正しく理解していただきました。来年は猪名川周辺の歴史について話したいと思います。

トピックス

猪名川の歴史紹介 猪名野神社と伊丹緑地(伊丹段丘・東縁)



原口河川レンジャー

伊丹の酒蔵(2023年度ニースレータ第3号)からまた有馬街道を北上します。伊丹市立音楽ホールを過ぎると間もなく猪名野神社の鳥居が見えてきます。この猪名野神社は、創立年月日は定かではなく、延喜4年(904年)に尼崎市猪名寺から現在の位置に遷座されたとのこと。戦国時代には荒木村重により有岡城の惣構北端の「岸の砦」が置かれた場所でもあり、境内西側には土塁と堀跡が残っています。また江戸時代には「野宮(のみや)」「天王宮」「牛頭天王宮」などと呼ばれ、伊丹郷町の氏神でした。明治2年の神仏分離で現在の「猪名野神社」に改められました。有岡城跡とこの猪名野神社の境内全域が国指定史跡となっています。

猪名野神社の裏手から国道171号線までの約1.4kmにおよび緑道を整備されているのが伊丹緑地です。伊丹緑地は伊丹段丘の東縁に位置しています。猪名野神社裏手から北東方向に伸びる国道尼崎池田線(13号)の伊丹坂トンネル(北行のみ)。「なぜこちらだけトンネルが?」と思っていた方も多いのでは...から北西方向への向きを変えます。また、西国街道が交差する場所は伊丹坂と呼ばれ、摂津名所図会にも描かれています。伊丹坂を当時の旅人と同じように歩いて登り、伊丹段丘を感じてみてはいかがでしょうか。

写真・原口河川レンジャー提供

参考文献:『伊丹市Webサイト』猪名野神社3棟、伊丹緑地
『兵庫県阪北地域ツーリズム振興協議会Webページ』猪名野神社



有馬街道と猪名野神社の鳥居



緑道と西国街道の交差点



出典:国土地理院(地理院地図を加工して作成)

お知らせ

猪名川河川レンジャーが参加するイベントのご案内

- ◆伊丹市生物多様性交流フェスティバル
生物多様性をテーマにしたポスター展です。佐藤河川レンジャーが猪名川のアレチウリについて啓発するポスターを出展します。
【開催日】2024年8月14日(水)~8月26日(月)
【場所】伊丹市昆虫館(火曜日休館) ※昆虫館入館料が必要
- ◆猪名川水環境交流会 いながわ体験フェスタ
体験いっぱい。見て、作って、やってみて、遊びながら猪名川をもっと知ろう! 猪名川河川レンジャーは水質調査体験のブースを出展します。
【開催日】2024年9月7日(土) 10:30~16:30 ※事前登録制
【場所】アステ川西6階 アステホール

第13弾 猪名川のい〜な! 作品募集

猪名川の魅力を伝える写真と絵画を募集しています。
詳しくは、作品募集チラシ、またはWebサイトをご覧ください。
応募作品はWebサイトで順次公開します。



Webサイト



昨年の受賞作品

猪名川河川レンジャー

Webサイト <http://www.iranger.jp/>
メールアドレス info@iranger.jp

Facebook <https://www.facebook.com/inagawaRanger> Webサイト facebook

facebookでは、猪名川河川レンジャーの活動内容のほか、猪名川で見つけた自然や文化などを紹介しています。

猪名川河川レンジャーに関するお問い合わせは、Web サイトまたはメールアドレスをご利用いただくか、猪名川河川事務所 工務課までご連絡下さい。



猪名川河川事務所 工務課
池田市上池田2丁目2番39号
TEL:072-751-1111(代表)